

香取 幸子 議員（自民誠和会）

カスタマーハラスメント（カスハラ）の対策について



町長 プライベートにまで踏み込まれないよう職員の名札表記を変更

職員の名札表記を変更

質問 お客からの著しい迷惑行為などのカスハラが近年、社会的課題となっている。東京では国に先駆け「カスハラハラスメント防止条例（仮称）」の制定に向け動き出しており、パブリックコメントを実施した。役場においてもカスハラに対する適切な対策を講じることが必要と思うが、次の3点について所見を伺う。

問① カスハラに対する考え方について。

町長 町民などからのクレームや言動において、「その要求内容に妥当性はあるか」「その要求を実現するための手段・態様が社会通年の照らして相当か」という判断基準から、

町長 町民などからのクレームや言動において、「その要求内容に妥当性はあるか」「その要求を実現するための手段・態様が社会通年の照らして相当か」という判断基準から、

問② 役場内での事例や発生状況と対応について。

町長 職員へのアンケート調査では「独自の理論を繰り返す主張され、対応に長時間が費やされる」などの事例があった。対策として、複数名で組織的に対応するよう指導している。また、個人のプライベートにまで踏み込まれないよう職員の名札表記を変更した。

問③ 今後の課題と対策について。

町長 事前の準備、発生時の対応、カスハラを受けた職員の心身状況の確認など、取組を進めていく。



質問 誰もが安心して便利に暮らせるまちを実現するため、地域公共交通の果たす役割は大きい。10月からは、デマンド交通の実証実験運行が始まる。地域特性に応じたさまざまな移動手段の検討をさらに進めていくべきである。また、モノレール延伸などの今後の大きな変化を見据えた公共交通の再編も検討すべきである。そこで、町では、地域公共交通計画の策定に向けて、何を検討し、何を盛り込んでいくのか、所見を伺う。

町長 この計画は、立地適正化計画とあわせて、コンパクトプラスネットワークの考え方に基づくまちづくり全体の方向性を示すものである。現在、計画策定に向けた議論を開始するための準備を進めている。地域に今ある課題や、輸送資源を整理し、第五次瑞穂町長期総合計画などの上位計画を踏まえて目指すべき将来像を設定する。モノレール延伸を見据えた交通再編も検討するが、まずは、現在の課題解決に取り組んでいく。持続可能な公共交通ネットワークを構築していく。

下澤 章夫 議員（自民誠和会）

地域公共交通計画について



町長 持続可能な公共交通ネットワークを構築



デマンド交通「チョイソコみずほまち」出発式

原 隆夫 議員（公明党）

町地域防災計画・国土強靱化地域計画に基づく地震対策へのさらなる強化を



町長 体制の強化を図る



質問 都は、多摩都市モノレールの延伸について、令和6年度内の都市計画決定を目指す」と表明しており、今後の事業の進捗が期待される。

町長 都は、多摩都市モノレールの延伸について、令和6年度内の都市計画決定を目指す」と表明しており、今後の事業の進捗が期待される。



古宮 郁夫 議員（自民誠和会）

多摩都市モノレールの延伸、町全体の発展につなげるべき

町長 町全体の発展性を確保しなければならない

質問 モノレール延伸が元狹山・長岡・むさし野各地区



町長 地域配備消火器約450本を設置して



地域配備消火器

質問 8月8日に日向灘で発生した地震により、「南海トラフ地震臨時情報」が発表され、地震に対する警戒が強化されている。町も地域防災計画や国土強靱化地域計画を策定し、対策を進めているが、見直しやさらなる強化に向けた4点を伺う。

問① 耐震診断・改修、ブロック塀の改修などの推進。

町長 診断・改修は上限額を高く設定した助成制度を設けている。ブロック塀の改修は、生垣への転換に費用助成を行っている。

問② 初期消火のための消火器の設置MAPの作成。

町長 地域配備消火器約450本を設置して

問③ 指定避難所や公衆設備。

町長 指定緊急避難所には必要最低限の備蓄を行い、防災倉庫から搬送する。石畑防災広場拡張工事に合わせ、内容、個数を見直すなど、拡充していきたい。

問④ 避難所へのニーズに合った備蓄品の分散配備。